

エコアクション21

# 川根本町 環境レポート

平成23年4月発行

「水と森の番人が創る癒しの里 川根本町」  
～豊かな自然、お茶と温泉に彩られた、誰もが安心して暮らせるふるさと～



私たちは森を守り、そして水を守っています。  
樹齢100年に向けて育つ杉林。CO<sub>2</sub>の吸収にも図り知れない貢献をしています。この森は適正に管理していかなければなりません。



「水と森の番人」ポロシャツ  
他にも「川根茶魂」もあります。

## 町に広がる温暖化防止活動



千頭駅前作業風景



完成したアーチ（奥大井の細道）

6月には川根本町商工会第二支部（千頭地区）が中心となり千頭駅前に緑のアーチを設置しました。駅前商店街・中部電力・大井川鉄道G・カンダグリーン・行政の協働作業。（幅2m、高さ2.5m、長さ10m）千頭駅前に降り立った観光客にも温暖化防止活動のアピールです。毎朝夕、駅前商店街の方々が交互に水掛です。



役場庁舎前



同左

役場にも設置（職員全体で管理しました）。受付カウンターには、中部電力からいただいたアサガオ・ゴーヤの種を置いて町民に配布しています。

## 緑のカーテン普及の支援

地域の公共施設（公民館・学校など）に新規に設置を希望する地区・学校には、1万円程度の資材（プランター・ネット・土・種）を現物支援します。継続の場合は、土と種を配布します。

平成22年度は34地区のうち10箇所、学校は全校の6校で実施いたしました。

## 2010 静岡県ストップ温暖化防止アクションキャンペーンに川根本町から多くの家庭がエントリー！！

## 平成 22 年度 川根本町役場のエコアクション

本年度からエコアクション対象施設を役場全施設に拡大しました。  
全施設のCO<sub>2</sub>排出量把握を徹底します。

各課の目標と年間総括・次年度への改善策は以下のとおりです。

### 本庁

課名	目標	年間総括及び次年度への改善策
総務課	庁舎のゴミ排出量の削減 (1ヶ月3.0kgの削減)	紙類をゴミとせずリサイクルするという意識付けは浸透した感がある。全庁で取り組むことが可能であればゴミ減量と再資源化推進の両点から有効である。
企画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週木曜日は独自のノー残業デー</li> <li>会議資料は1回当たりA3両面、2枚以内にします</li> <li>緑のカーテン普及(啓発)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノー残業デーの年間達成率 79%</li> <li>残業が悪のごとき風潮は危険である。残業の有無によりCO<sub>2</sub>削減できるか検証必要</li> <li>会議資料は、到底目標には届かない。会議内容が町民からなる委員に対し施策の審議が多いため、減らすことが困難である。</li> <li>エコアクションに本気で取り組むには、今一度、職員全体にその理解を得るための勉強会が必要。</li> </ul>
産業課	<ul style="list-style-type: none"> <li>用紙削減(課内プリントカウント年3万回以内)</li> <li>FSC森林認証制度普及啓発</li> <li>農林業センターの防除回数を1回以上減らす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントカウアウト実績 32,692回で目標を上回った。次年度は会議資料の簡素化を目指したい。</li> <li>FSC認証制度の普及啓発は、外部に対し年間38回を行った。</li> <li>茶園観察と害虫発生予察、さらに深整枝等を組み入れることにより、大幅に防除回数を減らすことができた</li> </ul>
建設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイドリングストップ運動呼びかけ</li> </ul>	目標数値が設定できないため、判断しにくい現場へ行くとき、アイドリングしている車はほとんどない。その意味で職員に啓発効果があったものと感じる。
福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者施設も含め全施設のCO<sub>2</sub>排出量を把握し次年度の基礎数値把握</li> </ul>	今年度においては、社会福祉協議会の中で、本川根事務所管轄の施設におけるCO <sub>2</sub> 排出量の把握については対応できたが、中川根事務所管轄の施設については把握できなかったため、中川根事務所管轄の施設のCO <sub>2</sub> 排出量の把握を徹底する。
税務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>税関係届出所のHP掲載し、利便性と資源節約</li> </ul>	効果が具体的数値で表せないとの指摘も受けているが、止むを得ないものと考えている。
生活健康課	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ収集車両燃料にBDF使用推進(廃食油を年間2400L購入目標)</li> </ul>	回収量は3832Lと前年度の回収量を上回り、次年度も今年度を上回るように回収したい。
議会事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>全議員で進める会議休憩時の消灯</li> <li>湯のみ茶碗1回使用で、取替え無し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務室内の照明は最小限で実施</li> <li>会議のない日は電気ポットで沸かした湯を保温ポットに移し変えて使用。影響なし</li> <li>冬季は冷蔵庫使用中止を試験的に実施したが影響なし</li> <li>議員控え室は昼食終了後に、消灯実施。</li> <li>湯のみ使用も75%の実施率</li> </ul>
出納室	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑のカーテン キャンペーン</li> <li>出納室で町民に種の配布</li> </ul>	5月中に種の配布をすれば、町民の方に一層の啓発になったと考える。次年度は早めの対応をしたい。夏季は日光を遮断でき、部屋の温度上昇を防ぐことができた。

### 支所

管理室 産業建設室	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区配布文書の削減</li> <li>工事現場での使用重機の環境配慮</li> </ul>	管理室 区長へ配布する文書を月4回から2回に削減した。 産業建設室 低燃費、低騒音の重機の使用
--------------	--	--

福祉介護室	・紙の排出量を 21 年度比 30% 削減 (月平均 9.13 k g)	排出量目標 109.56 k g/年間に對し、実績は 104.5 k g で達成率は 104.8%。次年度もミスプリ削減。
住民生活室	・集団による古紙、ビン、缶類の回収量 220,000 k g/年とする	回収実績は 216,325 k g で達成率は 98.33% であった。原因は女性の会の活動がなくなったことと、家庭から直接排出されたと考える。次年度の新たな目標設定が必要
文化会館	・会館利用者への環境啓発 利用者 1 名当たりの温室効果ガスを 3.2 k g - co2 以下とする。	施設利用者に、催事の規模に応じた適切な施設利用をお願いしたところ目標を達成 (3.0kg-co2) した。
教育総務課	両面コピーの徹底	具体的な枚数設定をしていなかったため、次年度は別なことで取組をしたい。
生涯学習課	環境学習を取り入れた地域で取組む生涯学習 15 件を目標	・事業数 22 件 各地区 (28 組織) において地域の素材で環境関連事業を年間通じて実施。 具体的な活動効果を次年度考慮する。
商工観光課	・両面コピーの徹底 ・HP を活用した広報による紙資源抑制	・両面コピーの徹底や資源ごみ排出量の削減に努めた。11 月から紙資源の把握をした、次年度も目標を設定し削減に努める。

## 22 年度の経過

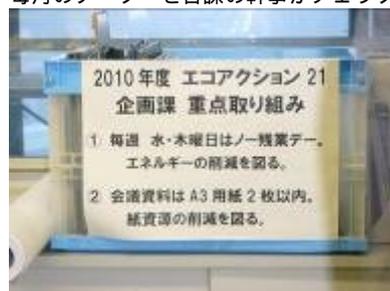
- 4 月 26 日・27 日            更新審査 (審査人 山本芳華・審査人 守屋 有)
- 4 月 30 日                    エコアクション 21 実施委員会  
(経営トップ 町長、委員長 副町長、委員 各課長)
- 5 月 20 日                    エコアクション 21 実施委員会 幹事会  
(各課 幹事)
- 10 月 26・27 日            内部環境審査の実施 (職員相互で監査)
- 四半期ごと                 各課から年度実施計画書兼進行管理表の提出
- 年間通じて                 各課の目標達成のためエコアクションを実施



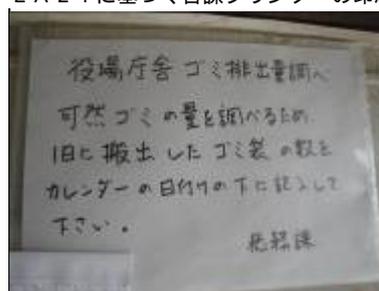
毎月のデータを各課の幹事がチェックする。



E A 21 に基づく各課プリンターの印刷枚数の管理



E A 21 による各課の目標の啓発一例



ゴミ置き場に、ゴミ袋の個数を把握する試み

川根本町役場 本庁舎と総合支所に太陽光発電システムを設置  
(平成22年6月設置)



本庁舎

本庁舎 設備容量 20kw



総合支所

総合支所 設備容量 15kw

本庁舎 電気量の推移

	21年度	22年度			
	総使用量 (kwh)	総使用量 (kwh)	前年比較 (と比較)	中電から買取 (kwh) の内訳	太陽光発電量 (kwh) の内訳
4月	22,580	22,823	1.1	22,823	
5月	17,469	16,982	2.8	16,982	
6月	17,982	17,727	1.4	17,727	
7月	21,121	23,882	13.1	23,316	566
8月	30,036	35,245	17.3	33,106	2,139
9月	35,813	36,794	2.7	34,516	2,278
10月	19,158	25,341	32.3	23,569	1,772
11月	18,024	18,262	1.3	16,859	1,403
12月	18,012	18,254	1.3	17,061	1,193
1月	24,819	24,140	2.7	23,303	837
2月	33,846	37,080	9.6	36,038	1,042
3月	27,285	27,124	0.6	25,749	1,375
合計	286,145	303,654	6.1	291,049	12,605
平均	23,845	25,305	5.9	24,254	1,401

総合支所 電気量の推移

	21年度	22年度				
	総使用量 (kwh)	総使用量 (kwh)	前年比較 (と比較)	中電から買取 (kwh) の内訳	太陽光発電量 (kwh)	太陽光売電量 (kwh) の内数
4月	8,092	6,728	16.9	6,728		
5月	5,820	5,663	2.7	5,663		
6月	4,857	5,437	11.9	5,437		
7月	4,988	6,566	31.6	5,334	1,240	8
8月	5,594	6,733	20.4	5,701	1,170	138
9月	6,295	6,461	2.6	5,557	970	66
10月	4,653	5,194	11.6	4,620	757	183
11月	5,241	5,098	2.7	4,353	845	100
12月	4,923	5,361	8.9	4,742	698	79
1月	6,061	7,073	16.7	6,182	943	52
2月	7,188	8,250	14.8	7,503	809	62
3月	6,055	7,414	22.4	6,196	1,254	36
合計	69,767	75,977	8.9	68,016	8,685	724
平均	5,814	6,331	9.9	5,668	965	80

## 川根本町クリーンエネルギー機器導入促進事業費補助金

川根本町では、環境負荷の少ないエネルギーの利用、資源有効利用、地球温暖化防止、町民と協働による自然に癒されるふるさとづくりの推進を目的に、以下の補助金制度を創設しております。

21年度から23年度までの3カ年の制度としています。

22年度の実績は以下のとおりです。

太陽光発電システム	22 件	4,316 千円
エコキュート	136 件	6,800 千円
太陽熱温水器	22 件	1,100 千円
潜熱回収型ガス給湯器	6 件	180 千円
計	186 件	12,396 千円

参考 21年度の実績

太陽光発電システム	17 件	3,334 千円
エコキュート	64 件	3,200 千円
太陽熱温水器	26 件	1,300 千円
潜熱回収型ガス給湯器	3 件	90 千円
計	110 件	7,924 千円

薪ストーブ・給湯ボイラー(木質燃料)等の設置の補助金制度もございます。

補助要綱は川根本町ホームページ <http://www.town.kawanehon.shizuoka.jp/>の補助・助成でご確認下さい



温かい薪ストーブ



ヒートポンプ型給湯器

## 川根本町

### 町内 4 事業所がエコアクション 2 1 を認証・取得しました。

CO<sub>2</sub>削減など環境に配慮した経営活動の推進や企業として経費削減などを狙いに本町商工会の4事業所が「エコアクション21」を認証しました。

平成20年に県内の自治体では3番目(町では第1号)の川根本町役場が認証取得以来、民間企業の取得は始めてです。



左から 富田工務店・中村工務店・佐藤町長・川根衛生社・川根インダストリーの各経営者

### 認証取得事業所の紹介

登録事業者名	認証・登録対象活動範囲	認証・登録日
(有)川根衛生社	し尿・浄化槽汚泥の収集運搬及び浄化槽の維持管理業	2010/ 7/7
川根インダストリー(株)	緑茶・玄米茶・紅茶等、粉碎及び各種個包装	2010/ 8/24
(有)中村工務店	建設業・山林の伐採・除草及び造林事業、産業廃棄物収集運搬	2010/ 7/7
(株)富田工務店	建設業及び産業廃棄物最終処分業	2010/ 7/7

平成23年度も新たに4事業所が取組む。

川根本町長から「町の取組に歩調を合わせ、チャレンジしていただいた。

今後も経営改善のツールとして有効に活用してほしい」と話がありました。

川根本町は「第3回静岡県景観賞」を受賞しました。(平成22年11月)  
優秀賞「大井川沿いの茶畑とSL」

(主催 美しいしずおか景観推進協議会)

本町の景観は「にほんの里100選」(平成21年1月認定)にも認定されています。

(財)森林文化協会・朝日新聞社認定

美しい本町の茶園景観の一部をご紹介します。(上質の茶産地 川根茶)



田野口(たのくち)地区



徳山(とくやま)地区



横郷(よこごう)地区



崎平(さきだいら)地区



久保尾(くぼお)地区



地名(じな)地区

レポート 郵便番号 428-0313

静岡県榛原郡川根本町上長尾 627 川根本町役場 企画課 環境室

電話 0547-56-2221 F A X 0547-56-2235

Eメール kikaku@town.kawanehon.shizuoka.jp